

MEDIC First Aid チャイルドケアプラス CPR、AED とその他の応急手当てプログラムは 学校、保育所、幼稚園、子ども園などの子どもの世話をする施設のスタッフや子どものスポーツ・コーチ、その他の子どもの健康上の緊急時に対応することが必要な人々のための理想的とも言えるトレーニング・プログラムです。このプログラムは、2015 CPR and First Aid Guidelines, Caring for Our Children, 3rd Ed, とその他のエビデンス・ベースの手当ての奨励事項に準じています。また、子どもが所属する施設に関して、米国の中でも最も規制の厳しいカリフォルニア州とフロリダ州の条件を満たしていますので、日本の保育者や保育施設にも、事故や病気から子ども達を守るための情報として大いに有益です。また、ニーズによって乳児と小児のみ、乳児と小児、成人の全年齢の 2 種類からコースを選択できます。

## 【コースの条件と構成】

### 受講対象

- 保育者
- 幼児教育者
- 学校教職員
- ベビーシッター
- コーチ
- 保護者

### クラスの種類

- 小児・乳児および成人。
- 小児・乳児

### クラスのサイズと人数比

- 指導員 1 名に対し受講者最大 12 名まで。
- 練習用器材 1 セットに対し受講者最大 3 名まで。

### インストラクター使用教材

- 講習用 DVD
- インストラクター・マニュアル

### 受講者各人の教材・認定証

- 受講生ブック
- ポケット・スキルガイド
- 救急計画表
- 実習用品セット (人工呼吸用バリア、保護用手袋、包帯、ガーゼ、ジップロック袋)
- 認定カード

### スキル実習

小グループに分かれて基本的なスキルの練習をします。オプションのシナリオを使ってそのスキルを現実にあてはめる練習を行なうこともできます。

### 評価方法

適切なレベルでスキルを実行できる能力がついたかを担当のインストラクターが観察・評価します。通常は筆記試験はありませんが、受講者側の職場の規則などによる必要がある場合には、スキルと知識の検定を行なうことも可能です。筆記試験が必要な方は担当インストラクターにお申し出ください。

### 所要時間 ( サブルメントを追加すると多少延長します )

- 全年齢 7 時間前後
- 小児・乳児 6 ~ 7 時間

### 認定カード

発行日から最大で 2 年間有効。

### 講習のお問い合わせは下記まで：



## 【コースで提供される講習内容】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの応急手当て</li> <li>小児応急手当てプロバイダー</li> <li>緊急事態に気づく</li> <li>かかわる人の安全</li> <li>助けようと決める</li> <li>血液感染性の病気</li> <li>スタンダード・プリコーション</li> <li>自分を守る器材</li> <li>法的な側面</li> <li>同意の示唆</li> <li>遺棄しない</li> <li>善き隣人法</li> <li>救急医療サービス (EMS)</li> <li>中毒 110 番</li> <li>救急行動計画</li> <li>緊急移動</li> <li>突然の心停止</li> <li>酸素と人体</li> <li>二次的心停止</li> <li>早期除細動</li> <li>蘇生の連鎖</li> <li>胸部圧迫 - 小児、乳児、成人</li> <li>レスキュー呼吸 - 小児、乳児、成人</li> <li>AED の操作 - 小児、乳児、成人</li> <li>AED のトラブル解決とその他の注意事項</li> <li>初期の評価 - 意識不明の子ども</li> <li>回復体位</li> <li>心停止の手当て - 小児、乳児、成人</li> <li>圧迫のみの CPR</li> <li>溺水</li> <li>複数のプロバイダーによる CPR</li> <li>心停止の手当ての手順</li> <li>チョーキング ( のど詰まり )</li> <li>初期の評価 - 意識あり</li> <li>出血のコントロール</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>止血帯*</li> <li>内出血</li> <li>ショック</li> <li>脊椎のケガ</li> <li>脳のケガ</li> <li>脳しんとう</li> <li>四肢の腫れ、痛み、変形</li> <li>ヤケド</li> <li>切断</li> <li>軽いケガ</li> <li>鼻血</li> <li>口のケガ</li> <li>目に入った異物</li> <li>突発的な病気の警告兆候</li> <li>意識レベルの変化 (意識障害)</li> <li>低血糖症</li> <li>けいれん発作</li> <li>失神</li> <li>呼吸困難、息切れ</li> <li>ぜんそくと吸入器</li> <li>激しいアレルギー反応</li> <li>中毒</li> <li>一般的な病気</li> <li>暑熱障害</li> <li>脱水症</li> <li>熱疲労</li> <li>熱射病</li> <li>寒冷障害</li> <li>低体温症</li> <li>凍傷</li> <li>噛み傷と刺し傷</li> <li>精神面の考察事項</li> </ul> |
|---|--|

\*印はオプションで提供できるトピックです。受講希望者は担当の指導員までお申し出ください。